

井尻公民館だより

(令和4年4月1日発行)

<令和4年4月号>

(第217号)

<連絡・問い合わせ先>館長 窪田 道忠 ()
主事 相澤陸奥実 ()

春雨のいよいよ川面打つほどに

小林昂平



絵手紙愛好会

新田政子

遠くの山々が靄で白ぼく見え春の訪れを感じさせられる季節となってきました。

今年の桜も開花が例年より早いとか、この「だより」が皆さんに届く頃は春爛漫の満開が楽しむ日々でしょう。

コロナについては6波のなかであるが2年が過ぎ色々と経験し、研究もあり、予防接種、薬等の開発され医療体制に於いても最悪状況も切り抜けた様子であるが、感染がまだまだ高止まりです、我々、何か慣れっこになって、危機感が薄れてきていると思います、もう一度気持ちを引き締め行動しましょう。

今、世界はウクライナ情勢に釘づけです、ロシアのプーチン政権の身勝手な軍事侵攻が(3/16現在)止まらないどんな犠牲を払っても守ろうとしている、ウクライナ国民は凄い事で、頭が下る思いです、早くの終結を我々は望み願います。

公民館の新年度について



窪田館長

3月で公民館活動1期2年の期間を終えました、それに伴い館長並び主事の任期も終わりました、本来ですと運営委員会を開催して新たの人選の選出する所ですが、昨今のコロナ禍で開けず、



相澤主事

村松運営委員長、館長、主事の3名で話し合い幾多問題を検討した結果、館長、主事とも再任とし、文面をもって運営委員の皆様にお送りし賛同頂きましたので、お知らせいたします。

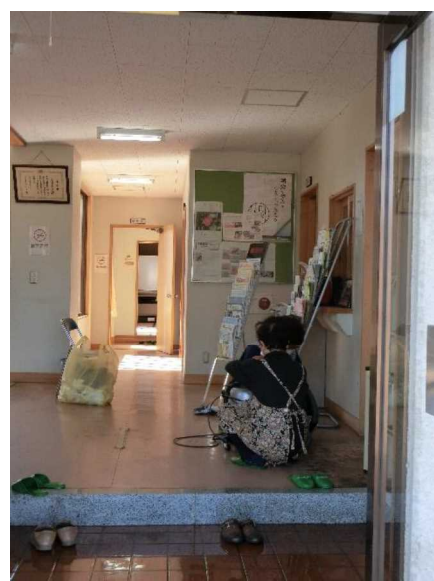
近年の多様化社会における生き甲斐ある人生を考えた時、生涯学習の場として、情報の発信の提供、各愛好会の活動促進、また、今迄あまり関心を持たれなかった方々にも気軽に参加して貰える身近な公民館を目指行きたいと思います、よろしく願いいたします。

相澤主事からは皆さんの生涯学習の拠点として、年間の活動を通して地域の絆をより深め、笑顔の絶えない交流の場として、行けるよう頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

公民館大掃除

年度末行事として、運営委員、使用団体の方々の協力を頂き清掃作業を行ないました、内外のガラス窓、調理室、室内の隅々までの作業、和室の障子の張り替えなど行い、終わりました、ご苦労様でした。

また、毎日、児童クラブの先生方には、エントランス、大ホール、トイレと掃除して頂いております、有難うございます。



わすれな かね
勿忘の鐘

あの日から 11 年・・・

今年も、私たちの心に深く刻まれた「3月11日」を迎えました。

震災後、大津波によって全壊となった岩手県陸前高田市の本称寺の住職、佐々木隆道さんの「忘れないでほしい」との思いを受け、土中から発見された本称寺の梵鐘とともに、全国各地、それぞれの場所で地震発生と同じ時刻（3月11日午後2時46分）に鐘をつき、法要を勧める呼びかけ、賛同した全国の寺院が行ない続けております。三日市場の常泉寺でも6年前より行われており、今回も多くの方々の参加があり、震災を心に刻み、犠牲者に思いを馳せ、鐘をつきました。



公民館使用・鍵の取り扱いについて

公民館の利用は、愛好会の活発の活動に加えて、各種団体の使用が増えております。次の事項を守って頂きたくお願いいたします。

- 公民館使用は、事前に電話で責任者にご連絡ください。
- 使用時には「使用申請」を使用後は「使用管理日誌」の記載を願います。
- 公民館の「鍵」は、館長自宅が遠い場所であるため、別所で管理しておりますので使用時は館長に連絡を願います、また、使用後は必ず当日に返却してください。
- 使用時間は、午後10時までです。また、使用後は掃除をお願いします。
- 使用にあたってはコロナ感染対策を確実に励行して下さい。

使用申し込み先

館長 窪田道忠



(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会) 2022/2/25

決心がすぐに崩れる気の弱さ
老いてなお笑顔絶やせぬ心意地
本心を伏せて会話の中に居る
自粛中アルバム開き心旅
嘘つけぬ心騙せず顔に出る
春が来て心明るくはずむ足
人情か心か川柳か

(久保 晃)

(三井厚子)

(田辺たみ子)

(古屋典子)

(雨宮江身子)

(中村廣一)

(関口正次)

(俳句)

(井尻公民館俳句愛好会) 2022/3/10

ぶどう棚揺すれば露のひかり降る
裸婦展の案内状や春一番
友の声はるか風の風やおぼろ月
やつれ見る頬の翳りや斑雪
辛夷咲く瀬音にそそぐ日のひかり
福寿草われ産声をあげし日も
あたたかや聖牛にもたれるねこ柳
制服の両袖濡らし卒業す

(三森美恵子)

(野村可ね子)

(増田英仁)

(鶴田光子)

(三柵 淳)

(飯島和子)

(小林昂平)

(飯島武志)

(短歌)

(古屋和子)

庭隅の水仙椿の蕾見え
春の気配が日々強まりし

組長の当番となり高齢の
夫婦なれども頑張るつもり

(久保 晃)

蠟梅ろうばいの蕾ほころび黄花は

日差しを浴びて微かに香る

剪定を始めた農家気になるは
雨の少なさ気温の低さ

